

---

## 4065. 積荷目録情報CY一括訂正

---

業務コード	業務名
CMC	積荷目録情報CY一括訂正

## 1. 業務概要

登録済みの積荷目録情報に対し、本船利用船会社単位にコンテナオペレーション会社コードの一括訂正を行う。

なお、本業務は、「積荷目録提出（DMF）」業務実施前まで可能とする。

## 2. 入力者

船会社、船舶代理店

## 3. 制限事項

① 1 船舶情報\*<sup>1</sup>（船会社コードを除く）に対して登録できるコンテナオペレーション会社数は、最大5件とする。なお、本業務実施前に5件の登録がある場合で、訂正後コンテナオペレーション会社が登録済みのコンテナオペレーション会社以外である場合は実施不可とする。

（\* 1）船舶情報とは、以下の4項目を指す（以下、同様）。

- ① 船舶コード
- ② 船会社コード
- ③ 船卸港コード
- ④ 船卸港枝番

## 4. 入力条件

### （1）CMC業務の場合

#### （A）入力者チェック

- ① システムに登録されている利用者であること。
- ② 船会社の場合は、「積荷目録情報登録（MFR）」業務で登録された貨物に係る船会社であること。
- ③ 船舶代理店の場合は、入力された船卸港において当該船会社との受委託関係がシステムに登録されている船舶代理店であること。

#### （B）入力項目チェック

##### （a）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

##### （b）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

#### （C）積荷目録管理DBチェック

- ① 入力された船舶情報に対する積荷目録管理DBが存在すること。
- ② 入力された船舶情報に対するDMF業務が行われていないこと。
- ③ 入力された船舶情報に対する積荷目録管理DBに対して、訂正前コンテナオペレーション会社コードが登録されていること。

#### （D）積荷目録情報CY一括訂正管理DBチェック

入力された船舶情報に対して、本業務による内部処理中でないこと。

#### （E）貨物情報DB、コンテナ情報DBチェック

後述5.（1）（C）の抽出処理において、処理対象のB/Lまたはコンテナが1件以上存在すること。

## 5. 処理内容

### (1) CMC業務の場合

#### (A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

#### (B) 積荷目録情報CY一括訂正管理DB処理

①入力された船舶情報および訂正前コンテナオペレーション会社コードに対する積荷目録情報CY一括訂正管理DBを作成する。

②本業務により内部処理中である旨を登録する。

#### (C) 貨物情報DB、コンテナ情報DB抽出処理

##### (a) 貨物情報DBの抽出処理

以下の条件をすべて満たすB/Lを貨物情報DBより抽出する。

①入力された船舶情報および訂正前コンテナオペレーション会社コードと一致する。

②積荷目録情報が登録されている。

##### (b) コンテナ情報DBの抽出処理

以下の条件をすべて満たすコンテナをコンテナ情報DBより抽出する。

①入力された船舶情報および訂正前コンテナオペレーション会社コードと一致する。

②積荷目録情報が登録されている。

##### (c) 仮陸揚空コンテナ次港情報DBの抽出処理

入力された船舶情報および訂正前コンテナオペレーション会社コードと一致するコンテナを仮陸揚空コンテナ次港情報DBより抽出する。

#### (D) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

#### (E) 内部処理の起動

処理対象のB/Lまたはコンテナを20件ごとに分割し、内部処理(積荷目録情報CY一括訂正(多数件))を起動する。

#### (F) 注意喚起メッセージ出力処理

内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

### (2) 内部処理(積荷目録情報CY一括訂正(多数件))の場合

#### (A) 積荷目録管理DB処理

入力された船舶情報に対して、コンテナオペレーション会社コードを変更する。

#### (B) 貨物情報DB処理

抽出されたB/Lに対する貨物情報に対して、以下の処理を行う。

①コンテナオペレーション会社コードを変更する。

②MFR業務、「積荷目録情報訂正(積荷目録提出業務前)(CMF01)」業務、「積荷目録情報追加登録(MFA)」業務または「積荷目録情報訂正(次船卸港の追加)(CMF03)」業務により、搬入時保税運送申告の旨が併せて登録されている場合は、その旨を取り消す。

(C) コンテナ情報DB処理

抽出されたコンテナ番号に対するコンテナ情報に対して、コンテナオペレーション会社コードを変更する。

(D) 仮陸揚空コンテナ次港情報DB処理

抽出されたコンテナ番号に対する仮陸揚空コンテナ次港情報に対して、コンテナオペレーション会社コードを変更する。

(E) 積荷目録情報CY一括訂正管理DB処理

抽出したすべてのB/Lおよびコンテナの処理が完了した場合は、本業務による内部処理中である旨を取り消す。

(F) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) CMC業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者

(2) 内部処理の場合

情報名	出力条件	出力先
エラー通知情報 (積荷目録情報CY一括訂正)	抽出したすべてのB/Lおよびコンテナの処理が完了した場合	入力者
到着即時申告予定コンテナ情報	到着即時輸入申告扱いの予備申告の登録がされているB/Lを処理した場合	訂正後コンテナオペレーション会社コード